

◎公務員試験対策講座を受講する前に

公務員になるためには、採用試験に合格しなければなりません。

採用試験に合格するという事は、受験者の中における自分の順位が「合格定員」の中に入るといことです。(資格試験と違い、「合格点」は決まっています。)

そのためには、なにより周到な試験対策が必要不可欠となります。

〔1〕何を、どのように準備すべきであるのか、「計画」を立ててから始めることが極めて重要です。

そして、効率的・効果的な、「合理的な」学習を意識して行いましょう。勉強のやり方が不適切な場合、学習時間と実力は比例関係に立たないこととなります。

いわゆる「傾向と対策」をおさえた的確な計画的学習が合格するための最重要なカギとなるのです。具体的には、次の3点がポイントです。

①その分野についての「全体的な概観」ができていること、②出題の頻度や到達すべきレベルといった「出題傾向の分析」ができていること、③現在の自分自身の「学力・到達度」をしっかりと把握できていることです。

〔2〕次に、「適切な学習習慣」を身に付けることで、学力の向上スピードは確実に早くなります。

授業を受ける上で必要なことは、「予習・復習・問題演習」を欠かさないことです。なぜなら、授業で聞いた内容を自分の実力に変えていくためには、ただ単に教室で座っているだけでは全く不十分だからです。適切な予習・復習・問題演習が行われることによってこそ、初めて、「授業内容の理解」が十分なものとなり、その結果、実力のアップが確実なものとなるのです。

いわゆる「試験直前期」に慌てないためにも、時間は無限にあるわけではないので、準備段階においても「時間配分」を特に意識しなければいけないのです。また、授業のない、「夏休み・冬休み・春休み」といった長期休業期間を有効に活用することも重要です。

4年次での「現役合格」を目指して準備を着実に進めていきましょう。

◎公務員試験情報センター（1414研究室）の案内

公務員採用試験に関する情報提供、履修相談、学習相談、模擬面接等を随時行っています。

◎オフィス・アワーの実施 …… 桜井特任教授、菊地講師

◎履修モデル

大学生としての4年間を有効に活用し、合格をより確かなものとするためにも計画的な試験対策が必要なことは前述したとおりです。

みなさんの試験対策をサポートするため、キャリアセンターでは、「公務員試験対策講座」として多数の授業科目を用意しています。

どの時期に、どの科目を履修するのがベターであるのかについて、受講生に1つの目安を提供するのが、いわゆる「履修モデル」と呼ばれるものです。

採用試験の種別・内容等に応じて、以下のような4種類を用意しています。

しかし、あくまで、1つのモデルに過ぎません。卒業要件単位の修得状況、学部の授業科目との重なり合い、現在の自分自身の学力・到達度等も踏まえたうえで、各自、実際の時間割作成・履修登録において参考にしてください。

(言い方を変えると、履修モデルに提示されているすべての科目を必ずしも履修しなければいけないわけではありません。反対に、場合によっては、同一の科目を再度、履修/聴講をした方がよいという場合もあります。また、目安となる履修の学年・学期を「前倒し」にすることも可能です。)

なお、学期始めに随時、個別的な履修相談を受け付けています。

いずれにしても、「キャリアセンター」、および、「公務員試験対策講座」を各自、最大限、有効に活用してください。

《キャリアセンターが提供する、4つの履修モデル》

(1) ※専門試験が課されるタイプ

千葉県庁、千葉市役所、木更津市役所、君津市役所などの行政職等

(2) ※専門試験が課されないタイプ

市原市役所、茂原市役所などの行政職等

(3) 警察官、消防官。 ※自衛官、刑務官

(4) 警察官……男子学生で、「①剣道・柔道の段位、あるいは、②大学に入ってから剣道・柔道の公式試合での実績」を既に有している場合。

【履修モデル①】

1次試験において、「教養試験」だけでなく「専門試験」もあわせて課されるタイプ。

千葉県庁、市役所の行政職（たとえば、千葉市、木更津市、君津市等）等。

※なお、国家公務員一般職、自衛隊幹部候補生、裁判所職員、東京都I類B、特別区I類等を志望する場合には個別に相談してください。

前期

後期

【1年生】

公務員試験（行政職）入門Ⅰ

公務員試験（行政職）入門Ⅱ

一般社会科学（政治）Ⅰ

【2・3年生】

公務員特進クラス（行政職）Ⅰ

時事問題Ⅱ（経済）

論作文Ⅰ（行政職）

一般社会科学（政治）Ⅱ

一般社会科学（経済）Ⅰ

一般文章理解Ⅰ

自然科学Ⅰ

数的処理Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ

一般文系総合演習Ⅰ（※3年次）

一般理系総合演習Ⅰ（※3年次）

公務員経済学Ⅰ

公務員憲法Ⅰ

公務員行政法Ⅰ

※公務員民法Ⅰ

公務員特進クラス（行政職）Ⅱ

時事問題Ⅰ（政治）

一般人文科学Ⅰ・Ⅱ

人文科学（地理）

一般社会科学（経済）Ⅱ

一般文章理解Ⅱ

自然科学Ⅱ

数的処理Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ

一般文系総合演習Ⅱ（※3年次）

一般理系総合演習Ⅱ（※3年次）

公務員経済学Ⅱ

公務員憲法Ⅱ

公務員行政法Ⅱ

公務員国際関係・政治学・行政学

※公務員民法Ⅱ

【履修モデル②】

市役所の行政職等の試験で、「専門試験」が課されないタイプ。(市原市、茂原市等。)

前期

【1年生】

公務員試験（行政職）入門Ⅰ

後期

公務員試験（行政職）入門Ⅱ

一般社会科学（政治）Ⅰ

【2・3年生】

公務員特進クラス（行政職）Ⅰ

時事問題Ⅱ（経済）

論作文Ⅰ（行政職）

一般社会科学（政治）Ⅱ

一般社会科学（経済）Ⅰ

一般文章理解Ⅰ

自然科学Ⅰ

数的処理Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ

一般文系総合演習Ⅰ（※3年次）

一般理系総合演習Ⅰ（※3年次）

公務員特進クラス（行政職）Ⅱ

時事問題Ⅰ（政治）

一般人文科学Ⅰ・Ⅱ

人文科学（地理）

一般社会科学（経済）Ⅱ

一般文章理解Ⅱ

自然科学Ⅱ

数的処理Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ

一般文系総合演習Ⅱ（※3年次）

一般理系総合演習Ⅱ（※3年次）

※得意分野で、「得点源」にできるならば、2・3年次において以下の科目も受講を奨める。

「教養試験のみ」であるにもかかわらず、公務員憲法などといった「専門試験向けの対策科目」の受講もあわせて奨めるのは、「教養試験」の問題の中に、実は「専門試験」レベルの高度な内容が含まれていることがあるからです。

公務員経済学Ⅰ

公務員憲法Ⅰ

※公務員民法Ⅰ

公務員行政法Ⅰ

公務員経済学Ⅱ

公務員憲法Ⅱ

※公務員民法Ⅱ

公務員行政法Ⅱ

公務員国際関係・政治学・行政学

【履修モデル③】

警察官、消防官。

なお、自衛官、刑務官、消防官（初級）を志望する場合には個別に相談してください。

前期	後期
【1年生】 警察官・消防官試験入門Ⅰ	公安社会科学（政治）Ⅰ 警察官・消防官試験入門Ⅱ
【2・3年生】 公安社会科学（政治）Ⅱ 公安文章理解Ⅰ 数的処理Ⅰ・Ⅲ 自然科学Ⅰ 時事問題Ⅱ（経済） 公安文系総合演習Ⅰ（※3年次） 公安理系総合演習Ⅰ（※3年次）	時事問題Ⅰ（政治） 人文科学（地理） 公安人文科学（日本史・世界史） 公安社会科学（経済） 公安文章理解Ⅱ 数的処理Ⅱ・Ⅳ 自然科学Ⅱ 論作文Ⅱ（警察官・消防官） 警察官・消防官特進クラス（※3年次） 公安文系総合演習Ⅱ（※3年次） 公安理系総合演習Ⅱ（※3年次）

※なお、「警察官・消防官」については、得意分野で、「得点源」にできるならば、3年次において以下の科目も受講を奨める。いわゆる「差がつく問題」をモノにするため。
ただし、ムリに奨めるものではありません。

一般社会科学（政治）Ⅱ
一般社会科学（経済）Ⅰ
一般文章理解Ⅰ
数的処理Ⅴ・Ⅶ
一般文系総合演習Ⅰ
一般理系総合演習Ⅰ
公務員経済学Ⅰ
公務員憲法Ⅰ
※公務員民法Ⅰ
公務員行政法Ⅰ

一般人文科学Ⅰ・Ⅱ
一般社会科学（政治）Ⅰ
一般社会科学（経済）Ⅱ
一般文章理解Ⅱ
数的処理Ⅵ・Ⅷ
一般文系総合演習Ⅱ
一般理系総合演習Ⅱ
公務員経済学Ⅱ
公務員憲法Ⅱ
※公務員民法Ⅱ
公務員行政法Ⅱ
公務員国際関係・政治学・行政学

【履修モデル④】

警察官を志望する男子学生であって、「①剣道・柔道の段位、あるいは、②大学に入ってから剣道・柔道の公式試合での実績」を既に有している場合。

ただし、消防官を併願するのであれば【履修モデル③】を奨める。

剣道・柔道で、在学中の「昇段」、「公式試合での実績」に、より一層努力してください。

剣道・柔道に一生懸命取り組むことが、合格に直結しているといっても過言ではありません。

実際、警察官採用試験の場合、多くは、「①剣道・柔道の段位、あるいは、②大学に入ってから剣道・柔道の公式試合での実績」を既に有している男子学生については、1次試験（＝教養試験）でそれほど得点を取れなかったとしても2次試験（＝面接等）に進むことができます。

しかし、もちろん、筆記試験の得点が良いに越したことはありません。

（似たような条件のライバルたちと比較されたとき、負けてはいけないからです。）

また、論作文試験が課されている場合には、「合格レベルの答案」を作成しないとイケないことに変わりはありません。面接では、時事問題が問われることもあります。

なお、警視庁、大阪府警では「漢字の読み書き」が特に重視されています。

筆記試験で求められている最低水準が、必ずしも高いものではないとはいっても、最終合格を確実に勝ち取るためには、部活動やアルバイトなどの後で疲れているときでも、あらかじめ計画しておいた試験準備に取り組むという強い意志に支えられた、計画的かつ継続的な努力こそが求められています。

◎3年終了時まで。

科目の取り方、学習の進め方などについては、個別に、積極的に相談しに来てください。

前期

警察官・消防官試験入門Ⅰ

公安社会科学（政治）Ⅱ

数的処理Ⅰ・Ⅲ

公安文章理解Ⅰ

時事問題Ⅱ（経済）

各自の学力や学習の進み具合等に応じて、

※ 公安文系総合演習Ⅰ（※3年次）

※ 公安理系総合演習Ⅰ（※3年次）

後期

公安社会科学（政治）Ⅰ

警察官・消防官試験入門Ⅱ

時事問題Ⅰ（政治）

人文科学（地理）

公安人文科学（日本史・世界史）

公安社会科学（経済）

数的処理Ⅱ・Ⅳ

公安文章理解Ⅱ

論作文Ⅱ（警察官・消防官）

警察官・消防官特進クラス（※3年次）

※ 公安文系総合演習Ⅱ（※3年次）

※ 公安理系総合演習Ⅱ（※3年次）